

冬期講習なら文理学院！！

秋、実りの季節。

9 月下旬には秋の空気に変わり、この記事を書いている 9/30 (土) は肌寒さも感じる季節になってきました。あっという間に過ぎ去っていく秋ですが、読書にも行楽にも最高の季節ですよ。

学習面でも秋は大切な季節。それは、11 月中旬～12 月初旬にかけて、どの中学校でも重要度の高いテストが実施されるからです。そのテストへの下準備や対策をじっくりと行っていくことが、10 月～11 月にかけての中学生のテーマとなるでしょう。秋の夜長、静けさの中、虫の音色に耳を傾けながら机に向かう……風情がありますよね。

冬、春への助走期間。

冬、特に小 6・中 3 の生徒やその保護者の皆さんにとっては大きな選択を迫られる季節。「進学」という、ある意味人生をも左右する可能性がある「重要な選択」をしなくてはなりません。その意味でも 12 月～3 月は「年度の締めくくり」にあたる大切な時期となります。

同時に「新年度へ勢いをつける季節も、この冬である」ことを忘れてはなりません。冬は寒くて厳しい季節になりますが、動植物がその厳しさを乗り越え春に花を咲かせたり、活発に動き回ったりするのと同じように、学生諸君にとっても「光り輝く明るい春を迎えるため」に、難しい学習内容や、厳しい受験を乗り越えていかななくてはならない季節が冬なのです。

一緒にこの冬を乗り越えていきましょうね！！

文理学院 教師・スタッフ一同

2017-2018 年文理学院

冬期講習のお知らせ

静岡県全地区

中 3=7 日間 33 時限の「公立・私立入試対策講座」

中 1・中 2=7 日間 21 時限の「学調対策講座」

小 4～小 6=4 日間で国・算重要単元復習、英語先取り講座

◎日程・時間割などの詳細は各校舎からご連絡いたします。

◎外部生向け「説明会」は指定土曜日午後 6 時開始です。

山梨県甲府地区

中 3=5 日間の冬期講習+無料：大晦日・正月特訓 3 日間

中 1・中 2=5 日間 5 教科指導 (5 教科入試直結重要単元復習)

小 4～小 6=5 日間で国・算重要単元復習+朝学習 (朝 9 時～1 2 時)

小 6 受験選抜クラス=5 日間で入試重要単元復習+朝学習 など

英語英検講座 (小 6) =英語検定 5 級合格講座

◎日程・時間割などの詳細は各校舎からご連絡いたします。

◎外部生向け「説明会」は毎週土曜日午後 6 時開始です。

山梨県郡内地区

中 3=8 日間の冬期講習+正月特訓+前期対策 2 日間 (全 11 日間)

中 1・中 2=5 日間 5 教科指導 (5 教科入試直結重要単元復習)

小 4～小 6=5 日間で国・算重要単元復習+朝学習・英検講座

◎日程・時間割などの詳細は各校舎からご連絡いたします。

◎外部生向け「説明会」は毎週土曜日午後 6 時開始です。

ジョイフル イングリッシュ スクール (JES)

小 1～小 6=3 日間でネイティブスピーカーが英会話を、日本人教師が筆記を指導。(詳細な実施日程は各校舎からご連絡いたします。)

地区からの特別ニュース(^^) / 【第 4 弾 最終回】

御殿場地区だより

第 2 の母校＝文理学院

御殿場地区の校舎は御殿場校舎・高等予備校御殿場校舎、川島田校舎、富士岡校舎、長泉校舎。すべての校舎で最も重要視しているのは、「楽しく文理に通ってもらうこと」です。これは文理学院全体の特徴でもあります。御殿場地区は特にそれが強い地区です。その一番の要因は教師のキャラクターではないでしょうか。どの校舎の教師も、とにかく授業においての個性は光り輝くものを持っています。同じ教科・同じ単元の授業でも、その日の生徒の様子や雰囲気、理解度に応じてきっちり授業ができる。塾の教師としては当たり前のことですが、御殿場地区の教師は、それに加えて生徒を笑顔で帰す話術も持っています。

以前の高等部文理だよりで高等予備校御殿場校舎が紹介された際にも書かれていましたが、御殿場地区は卒業生の来塾が本当に多いです。卒業生の思い出を聞いてみると、勉強での思い出はもちろんですが、「あの時のあの授業のあの話は今でも覚えています。」や、「学校の同窓会をしても文理生同士が集まって、結局文理での思い出を語ります。」といった話をよく聞きます。これこそ、学生時代に生徒の皆さんが本当に文理を信頼して、慕って通ってくれていた証拠ではないでしょうか。

もちろん成績アップもお任せください。夏期講習が終わり多くの生徒が入塾してくれましたが、長泉校舎では 9 月定期テストで、中学生の入塾生全員が 2 桁以上の順位アップ。御殿場校舎、川島田校舎、富士岡校舎はこれから 10 月以降に定期テストがありますので、そこで素晴らしい結果を出します。

これからの御殿場地区に是非ご注目ください。

山梨県・静岡県に 30 校舎。次回からは校舎長特集です！

八風吹けども、動ぜず天辺の月。

先日、平安時代に空海（弘法大師）が開いた金剛峯寺のある高野山（和歌山県）に行ってきました。厳かな空気の漂う素晴らしい場所でした。特に、歴史上の人物や全国の藩主・大名のお墓や供養塔、忠霊塔などが20万基以上もある「奥の院」は、一言では表すことのできない荘厳（そうごん）な静けさのある場所でした。その一番奥に眠る空海（弘法大師）の教えを具体的にわかりやすく解説したある書物から引用し、文理学院に通う小中学生とその保護者の皆様に向けてエールを書いてみたいと思います。

人間というものは大変に弱く、周りに流されやすく、影響を受けやすい生き物ですよね。仏教の世界では人間の心を揺れ動かす風を「八風」（はっふう）と言うそうです。その八つの風とは次のようなものだそうです。

- 「利」（り）…やること、なすことがすべて上手くいくような利益という風
- 「衰」（すい）…どんなにがんばっても、何をやってもうまくいかない時に吹いている風 —この風が吹く時は仕方がない
- 「毀」（き）…他人から陰で非難・攻撃される時に吹いている風 —この風が吹く時は放っておくしかない
- 「誉」（よ）…他人が陰で自分をほめてくれている時に吹いている風 —ありがたく喜ばばよい
- 「称」（しょう）…目の前でほめられる時に吹く風 —お世辞が入っていることもあるので気をつけたほうがよい
- 「譏」（き）…面と向かって悪く言われる時に吹く風 —耳の痛いことを心底言ってくれているからありがたく聞くべきだ
- 「苦」（く）…逆境の風（向かい風） —そのような時でも悲観せず、前向きに希望を持って進むべき
- 「楽」（らく）…順境の風（追い風） —そのような時ほど、有頂天になったり、過信したりせず、謙虚に進むべき

これらの風が、常に人の心に揺さぶりをかけてきます。それによって、人間とは喜んだり、落ち込んだりするわけですが、上に書いた通り『八風吹けども、動ぜず天辺の月』ということばがあります。「この地球上でどんなに強い風が吹き荒れても、夜空を照らす月は少しも動じることがなく静かに光を放ち続けている」という意味だそうです。自分なりの解釈を入れれば、「何事にも動じることのない、信念と哲学を持って自分のできる最大限の努力を重ねていくことが大切である」と我々に説いていることばなのだと思います。塾生諸君には、上のことばの意味を借りつつ、次のことばをエールとして送りたい。

努力がいつも報われるとは限らない。いつもよい結果を出せるとも限らない。それでも、自分自身を信じて目標に向け、日々、正しい努力を重ねていくことでしか、自分自身の納得・満足できる結果を得ることはできない。どんな風が吹こうが決して目標を見失わず、自分自身を見失うことなく、勉学に勤しんでいってもらいたい。その努力を私たちがサポートすることで、一緒に大輪の花を咲かせようじゃありませんか！！

精神面の強化と豊かな情操を育む — 文理学院の指導理念です。

全国統一 対象:小学1年生～小学6年生

小学生テスト

11月3日(金・祝)午前9時より

今年もこの季節がやってきました！全国の小学生と競い合おう！！
もちろん受験料は「無料」ですから、積極的に受験しましょうね！！

【試験科目】

小学1・2・3年生は「算数・国語」

小学4・5・6年生は「算・国」/「算・国・理」/「算・国・理・社」

※終了時刻などの詳細は各校舎にお問い合わせください。

全地区11/1(水)から 冬期講習 受付開始!!

とことん徹底指導！
とことん学力向上！
とことん人間教育！
とことん安心価格！

**入塾随時
受付中**

★各校舎の「ブログ」も是非ご覧ください！★



QRコードを読み取って
校舎ブログを覗いてみてね！

文理だより編集後記

「本物に触れる」ことの大切さ

私はこれまで生きてきて「本物を観たり、本物に触れたりする機会が大変多かったこと」が一番の幸せであったと思います。歴史的建造物を初め、絵画などの美術品、動植物、自然、スポーツなど、「足を運び、実際に観る」ことを大切にしてきました。教え子たちにも、是非そうあって欲しいと思っています。

本物を観ることは感性や感覚を養うことに繋がります。豊かな人生を送るためには、よいものを観て感動したり、美味しいものを食べて感激したりできる感性・感覚が大切であると思います。

京都国立博物館で10/3(火)～11/26(日)まで「国宝」を特別に展示しています。本物に触れるよい機会です。【勤】

正しい学習と貴重な経験から「眼力」を身につけよ！